

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名		夢門塾ゆうゆう西条		公表日	2026年 1月	
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・学習ルームなどに分散できるよう、声かけを行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・適切な人員配置にしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・ルールや手順書を事業所内に掲示し、分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	・清掃を分担して行い、週替わりで担当場所を交代しながら行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・時間を区切って運動ルームを使用し、安全に配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・夕礼で振り返りと改善策の共有を行い、引継ぎノートを活用して情報共有を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・年1回アンケートを実施し、職員会議で改善策を検討しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・個別面談やアンケート、定例会議を通じて、職員が意見を出しやすい機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0		評価結果を職員に分かりやすく伝え、改善策を検討する会議を設ける。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・定期的に研修や講演会の情報共有がされている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		目標、支援内容、期待される効果を明確にし、誰でも理解できる形で作成する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・子どもの意見を聞く時間を設けています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・日々の気付きについて話し合いを行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・定期的にミーティングを行い、情報共有を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		標準化された評価ツールと日々の記録を組み合わせ、こどもの適応行動を多角的に把握する。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・実施内容や方法、頻度、担当職員を具体的に設定し、支援に活かせる計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・子どもの発達状況や興味に応じて、活動内容をチームで調整しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・子どもたちのリクエストを取り入れた活動を計画し、今後も新しい活動を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・発達段階や興味に応じて集団活動を調整し、成長の機会を提供しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・個別支援は、特定の職員に偏らないよう対応しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・送迎後や行事終了後に、反省点などについて話し合いを行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・記録すべきポイントを共有し、記録をもとに支援方法の検討や改善策の協議を行っています。		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切に見直しを行っているか。	4	0	・気になる様子がある際は随時話し合いを行い、モニタリング結果を共有して支援内容の見直しを検討しています。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	・子どもの発達段階や興味に応じて基本活動を組み合わせ、学びの機会を広げています。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	・自由時間やおやつの際に、子どもたちが選択や話し合いの経験を持てるようにしています。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・基本的には児童発達支援管理責任者が参加し、参加できない場合には、内容を把握している他の職員が参加しています。		

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・相談支援事業所や学校と連携し、支援体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・学校や保護者様へ下校時間の確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・相談員や保護者様を通じて、情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		就労への移行があった際には、関係機関と情報を共有し、円滑な移行につなげてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		児童発達支援センターの研修や講座に職員が参加できるよう調整し、知識や技能の向上を図ってまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	0		放課後児童クラブや児童館との交流の機会を設けられるよう努めてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	・協議会に参加し、得た情報を職員間で共有し、支援に活かしています。	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・送迎時に保護者様と情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		家族向けの研修はこれまで実施できていなかったため、今後の課題として取り組んでまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・説明後に質問やご意見を受け付け、ご家族が十分に理解されているか確認し、不明点については個別に対応しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・支援中や送迎時に、お話しする時間を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・説明時に保護者様のご意見やご質問を受け入れ、お子様の状況やご家庭のご希望を反映しながら計画内容を調整しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・面談や電話、コドモン等を通じて、ご家族が気軽に相談できる体制を整えています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		他教室とも連携して、合同行事を計画し、合同での家族会等を実施していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・苦情があった際には、速やかに職員間で共有し、ミーティングを行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・毎月、「夢通信」「夢だより」を配布し、文章や写真で活動内容のお知らせをしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・肖像権等をしっかり確認している。	
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・送迎時や連絡帳、電話等で情報共有を行い、発達段階や特性に応じた伝え方を心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		今後も、さまざまな地域の行事に積極的に参加してまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・マニュアルを策定し、職員が閲覧できるようにするとともに、訓練も実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	・子どもに分かりやすく避難方法を説明し、安心して訓練に参加できるよう配慮しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・連絡ノートや服薬状況を確認し共有するとともに、おやつ購入時も注意して対応しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・研修や勉強会を通じて、アレルギー対応や緊急時対応の知識の徹底に努めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアルを作成し、安全管理の手順を明確化しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・ご家族からの質問やご意見を受け付け、安全対策について理解と納得を得られるよう努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・職員全員で確認し、対応方法や改善点について共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・定期的に、社内で虐待防止研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		現在、事業所内で身体拘束を行った例はないが、必要が生じた場合には法定基準に則って対応する。
	保護者様評価、自己評価についてまとめ					
保護者様評価および自己評価を踏まえ、不十分な箇所については改善を行い、職員間で周知徹底を図ってまいります。また、その他の点についても、引き続き質の高いサービスを提供できるよう、ミーティング等で情報共有を行い、安全な施設運営に努めてまいります。さらに、保護者様が不安に感じていることや分かりにくい点を明確にし、安心してご利用いただけるよう環境整備に努めてまいります。						